

情報通信審議会 情報通信技術分科会
小電力無線システム委員会（第 20 回）
議事要旨（案）

1 日時

平成 20 年 4 月 3 日（木） 15 : 00～15 : 40

2 場所

総務省 第 3 特別会議室（9 階）

3 出席者（敬称略）

主 査 : 森川（東京大学）

構 成 員 : 阿部（KDDI（株）代理：堀部）、伊藤（（株）マイクロソフト 代理：浅井）
小川（（独）情報通信研究機構）、久間（三菱電機（株）代理：辻道）、斉藤（日
本電信電話（株））、坂下（リンテック（株））、高野（（株）富士通研究所）、
徳広（（株）NTT ドコモ）、丹羽（（社）日本アマチュア無線連盟）、野尻（（株）
デンソーウェーブ 代理：寺浦）、野本（日本放送協会）萩原（パナソニック
モバイルコミュニケーションズ（株））、波多野（日本テキサス・インスツルメ
ンツ（株））、平野（マイティカード（株））、正村（日本無線（株））、宮内（（財）
テレコムエンジニアリングセンター）、山田（東京電力（株）代理：小川）、
弓削（ソフトバンクテレコム（株））、渡辺（（株）東芝）

事 務 局 : 渡辺、林、工藤（総務省移動通信課）

大塚、村上、伊藤（総務省基幹通信課重要無線室）

4 配布資料

資料 2009-20-1	小電力無線システム委員会（第 19 回）議事要旨	【事務局】
資料 2009-20-2	情報通信審議会情報通信技術分科会（第 57 回）資料	【事務局】
資料 2009-20-3	特定ラジオマイク高度化作業班 運営方針（案）	【事務局】
資料 2009-20-4	特定ラジオマイク高度化作業班 構成員（案）	【事務局】
資料 2009-20-5	特定ラジオマイクの高度化に向けた作業スケジュール（案）	【事務局】
資料 2009-20-6	気象観測用ラジオゾンデ作業班 運営方針（案）	【事務局】
資料 2009-20-7	気象観測用ラジオゾンデ作業班 構成員（案）	【事務局】
資料 2009-20-8	気象観測用ラジオゾンデの高度化に向けた作業スケジュール （案）	【事務局】
参考資料	小電力無線システム委員会構成員	【事務局】

5 議事

(1) 前回議事要旨の確認

森川主査から、資料 2009-20-1 の前回議事要旨案について確認がなされた。特段の意見等はなく、承認された。

(2) 情報通信技術分科会での審議開始について

事務局から情報通信審議会 情報通信技術分科会（第 57 回）における審議開始の内容について資料 2009-20-2 に基づき説明がなされた。質疑応答は以下のとおり。

ア 特定ラジオマイクの高度化について

（弓削委員）本件は、海外からの来訪公演の持ち込み機器を想定しているのか。また、携帯電話との干渉を考慮するのか。

（事務局）これから運用形態を整理したうえで検討していくが、海外からの規模の大きい公演の場合は、多チャンネルが必要であることも多いと聞いているので、そのような運用形態も想定し、周波数共用するシステムとの共存を考慮して検討していくことになる。

（森川主査）使用する周波数帯は決まっているのか。

（事務局）現在、特定ラジオマイクが既に使用している 800MHz 帯を中心に検討していくこととしたい。

イ 気象観測用ラジオゾンデの高度化について

（坂下委員）ラジオゾンデは、400MHz 帯を使用しているとのことだが、433MHz の RFID との干渉の可能性は考えられるのか。

（事務局）ラジオゾンデの使用周波数は、403MHz 付近であり、その帯域の周辺を中心に影響の可能性のあるシステムとの共用検討を行う予定である。

（森川主査）現行規格の広帯域のラジオゾンデと、制度化される狭帯域のラジオゾンデは同じ帯域で同時に運用されるものか。

（事務局）ラジオゾンデの帯域幅は製品によって複数あり、それぞれが同時に運用された場合でも干渉による影響が発生しないよう周波数間隔等の検討を行う予定である。

（小川委員）ラジオゾンデは片方向の通信のみを行うものか。双方向通信を行うものは無いのか。

（事務局）ゾンデ側からの片方向の通信のみである。地上からのテレコントロールは行っていない。

（丹羽委員）審議内容としては、ラジオゾンデの高度化とあるが、狭帯域化の他に伝送速度の高速化等の高度化は想定されているのか。

（事務局）基本的にはラジオゾンデの規格の国際的な動向に合わせて国内規定を整備するものであるが、具体的には今後検討を行っていききたい。

(3) 作業班の設置について

事務局から資料 2009-20-3～8 に基づき作業班の運営方針案等について説明がなされ承認された。質疑応答は以下のとおり。

(小川委員) 気象観測用ラジオゾンデ高度化作業班では、周波数共用検討対象の体内植込型医療用データ伝送システムのメーカーは入っているのか。

(事務局) 日本メドトロニックとバイオトロニックジャパンの2社が入っている。

(4) その他

事務局から、次回委員会において当該システムの技術的条件の策定に向けて、広く意見募集の機会を設けることについて、4月4日以降、報道発表や総務省HPを通じて広く募集すること、次回開催スケジュールについては、5月12日(月)を予定しており、日時については、別途連絡する旨を説明。

(なお、意見については特定ラジオマイクの高度化に関して1件、書面のみとする意思表示があり、電子メールによる委員会構成員に対する確認の結果、作業班での検討に付されることとして5月12日は開催しないこととなった)

以上